



弱溶剤2液高浸透高密着形特殊エポキシ変性有機・無機ハイブリッドシーラー

# WBグリップシーラー-EPO

カタログ  
No.021-02

ホルムアルデヒド放散等級  
F☆☆☆☆☆  
内装仕上げの制限なし

## 窯業系サイディング 塗替用シーラーの決定版!

有機・無機ハイブリッド架橋システムにより、  
窯業系サイディングボードに塗装されている特殊  
コーティングや下地の種類を選ばず塗装が可能!!

● **特長** /JASS 18 M201 反応形成樹脂シーラー及び弱溶剤系反応形成樹脂シーラー相当品/

### 高浸透・高密着

窯業系サイディング  
ボードの種類を選ばず  
塗装可能です。

### 弱溶剤形

臭気がマイルドで、  
リフティングの心配がなく、  
塗替えに最適です。

### 補強効果

劣化層・脆弱層を補強し、  
上塗りの仕上がりも  
良好です。

### 高密度架橋

水分や二酸化炭素の浸入を  
防ぎ、下地の保護機能に  
優れます。

### ● 適用下地

#### ★窯業系サイディング

工場塗装板(光触媒コーティング、無機系コーティング等も含む)、無塗装板

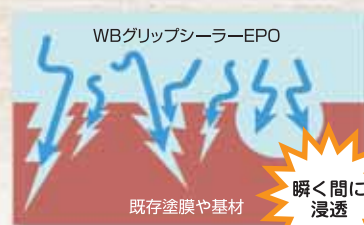
その他：押出成形セメント板、コンクリート、モルタル、PCパネル、スレート、  
けい酸カルシウム板(比重0.8以上)、各種既存塗膜などにも適合します。

窯業系  
サイディングボードの  
塗替えに最適!!



### ● 高密着のメカニズム

**1** 特殊樹脂が  
微細なすき間にも浸透!



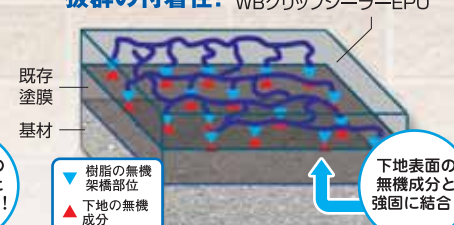
瞬間に  
浸透

**2** エポキシ・ウレタンの合わせ技で、  
有機系特殊コーティングボードに  
強力付着!



既存塗膜：有機系シリコン・ふっ素コーティング

**3** 有機無機ハイブリッド架橋により、  
無機系コーティングボードに対して  
抜群の付着性!



既存塗膜：無機系親水・光触媒コーティング

### ● 適用塗料・塗材 (主な商品名)

水性上塗り・弱溶剤上塗り塗料全般・各種仕上材  
(ウォールバリアシリーズ、水性セラフレックスシリーズ、ワイドエポレシリーズ他)

### ● 用途

建築物の内外壁用下塗り  
(新設および塗替)



### ● 性能

JASS 18 M-201 反応形成樹脂シーラー及び弱溶剤系反応形成樹脂シーラーによる

項目	内容	品質
ポットライフ	3時間で使用できるものとする。	適合
塗装作業性	はけ塗り塗装作業性に支障があってはならない。	適合
乾燥時間(h)	16以内	適合
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	適合
耐水性	水に浸しても異常があってはならない。	適合
耐アルカリ性	24時間浸しても異常があってはならない。	適合
上塗り適合性	上塗りに支障があってはならない。	適合
加熱残分%	20以上	適合

### ● 容量・荷姿

WBグリップ シーラー-EPO	15kgセット(主剤:13kg 硬化剤:2kg)
	色相：透明
消防法表示	化学名：合成樹脂クリアー塗料
	危険物区分：第四類第二石油類 (非水溶性)
	危険等級：Ⅲ(火気厳禁)

## スズカファイン株式会社

営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX 059-397-6191  
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX 059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255  
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1166 四国支店 ☎0877-24-4621  
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店

URL <http://www.suzukafine.co.jp/>

□このカタログに記載の商品の内容は、改良などのため  
予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

16/07

弱溶剤2液高浸透高密着形特殊エポキシ変性有機・無機ハイブリッドシーラー

WBグリップシーラー-EPO

## 標準塗替仕様

### 1 素地調整

塗料名	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>●既存塗膜の浮き、ふくれ、ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。</li> <li>●汚れ、じんあい および、チョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗 (水圧:15MPa以上)で除去する。</li> <li>●下地は十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下)</li> <li>●既存塗膜の段差を同一模様になる塗材で復元する。</li> </ul>					

### 2 下塗り

WBグリップシーラー EPO	100 (※無希釈)	0.08~0.18	1~2※	[工程間] 4時間以上 7日以内	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
----------------	------------	-----------	------	------------------------	-----------------------------

※下地の吸い込みが著しい場合は2回塗りし、工程内での塗装間隔は3時間以上

### 3 上塗り

ウォールバリア水性 清水	100 5~15	0.15~0.20 (kg/m <sup>2</sup> /回)	2	[工程内] 3時間以上 [最終養生] 24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
--------------	----------	----------------------------------	---	------------------------------------	-----------------------------

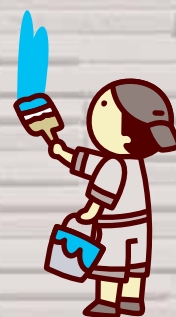
## 塗装間隔

●上塗りとの塗り重ね時間は、諸条件により異なりますが、標準的な塗装間隔時間は下記の通りです。

温度 (℃)	5	23	30
塗装間隔の目安	8時間以上7日以内	4時間以上7日以内	3時間以上7日以内

●可使用時間

温度 (℃)	5~15	15~23	23~35
可使用時間の目安	7時間以内	5時間以内	3時間以内



## 塗装上の注意事項

- 素地は、十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下) ぜい弱下地の場合、吸水率が大きい場合が多いため、塗装前の含水率には十分注意してください。
- 素地の巣穴、クラック、不陸、目違いなどは、予め樹脂モルタルまたはラフトンファイバーなどで補修し、平滑にしてください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上または結露が懸念される場合は、塗装を避けてください。
- 強風時や降雨・降雪のおそれのある場合は塗装を避けてください。
- 吹付け塗装の場合は、飛散防止の養生など十分注意してください。
- 塗装後に結露を生じますと、塗膜がタレたり、シミになりますので、冬期や雨天の塗装には、十分ご注意ください。
- 塗料の取扱い時、塗装時は、換気を行ってください。また、塗装後も乾燥のために、換気を十分に行ってください。
- 塗装後のはけ、ローラーなどの用具は早めに洗浄してください。
- WBグリップシーラーEPOは2液現場調合タイプです。材料を正しい比率で計量後、十分攪拌し、均一にしてから塗装してください。
- WBグリップシーラーEPOを希釈しますと、付着不良による不具合が起きる危険がありますので、必ず無希釈でご使用ください。
- たれ、塗り残しなどがないように、均一に塗装してください。特に、極細毛タイプのウールローラーを用いて塗装しますと、塗付量が少なくなり、塗り残しを生じがちですのでご注意ください。
- 仕様の各数値は、標準的な数値です。素地の形状や状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。
- 2液形塗料の場合、硬化反応が100%終了しますと、塗り重ね部分で層間には離れを起こす可能性がありますので、各工程の塗装間隔及び最終養生は所定の時間を厳守してください。
- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・ちぢみ現象が発生する場合があります。事前に試し塗りで確認してください。ふくれ・ちぢみ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去してください。また、既存塗膜に溶剤分が残りますと、ふくれ現象が生じる恐れがありますので、十分に乾燥後上塗りしてください。
- シーリング目地部への直接塗装は、塗膜に割れ、剥がれ、汚れを生じることがあるため行わないでください。目地部及び開口部回りのシーリング打ち替えは、新築時と同じく、後打ち工法を推奨いたします。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。
- 新品同様で劣化の進行していないつや有りの塗膜には、予め試験塗りをし、付着性を確認してください。

## 取扱い上の注意事項

- 引火性液体ですので、火気のあるところでの使用は避けてください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますので、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないように必ず保護具を着用してください。
- 取扱い中は、皮膚・粘膜・着衣に触れたり、目に入らないよう適切に保護してください。特に硬化剤の取扱いには十分注意してください。必要に応じて下記の保護具を使用してください。(防塵マスク、頭巾、保護めがね、長そでの作業衣、えり巻きタオル、保護手袋、前掛けなど)
- 容器から取り出すときには、こぼれないよう注意してください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- 蒸気、臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ時には、直ちに医師の診断を受けてください。
- 取扱後は手洗い、うがい、鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。
- 特に下記の場所への保管は避けてください。  
雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- ご使用前には製品容器に記載の注意事項をよくお読みください。また、SDS (安全データシート) もご参照ください。
- ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。
- カタログに記載されていない下地や仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用前に最寄りの営業所にお問い合わせください。